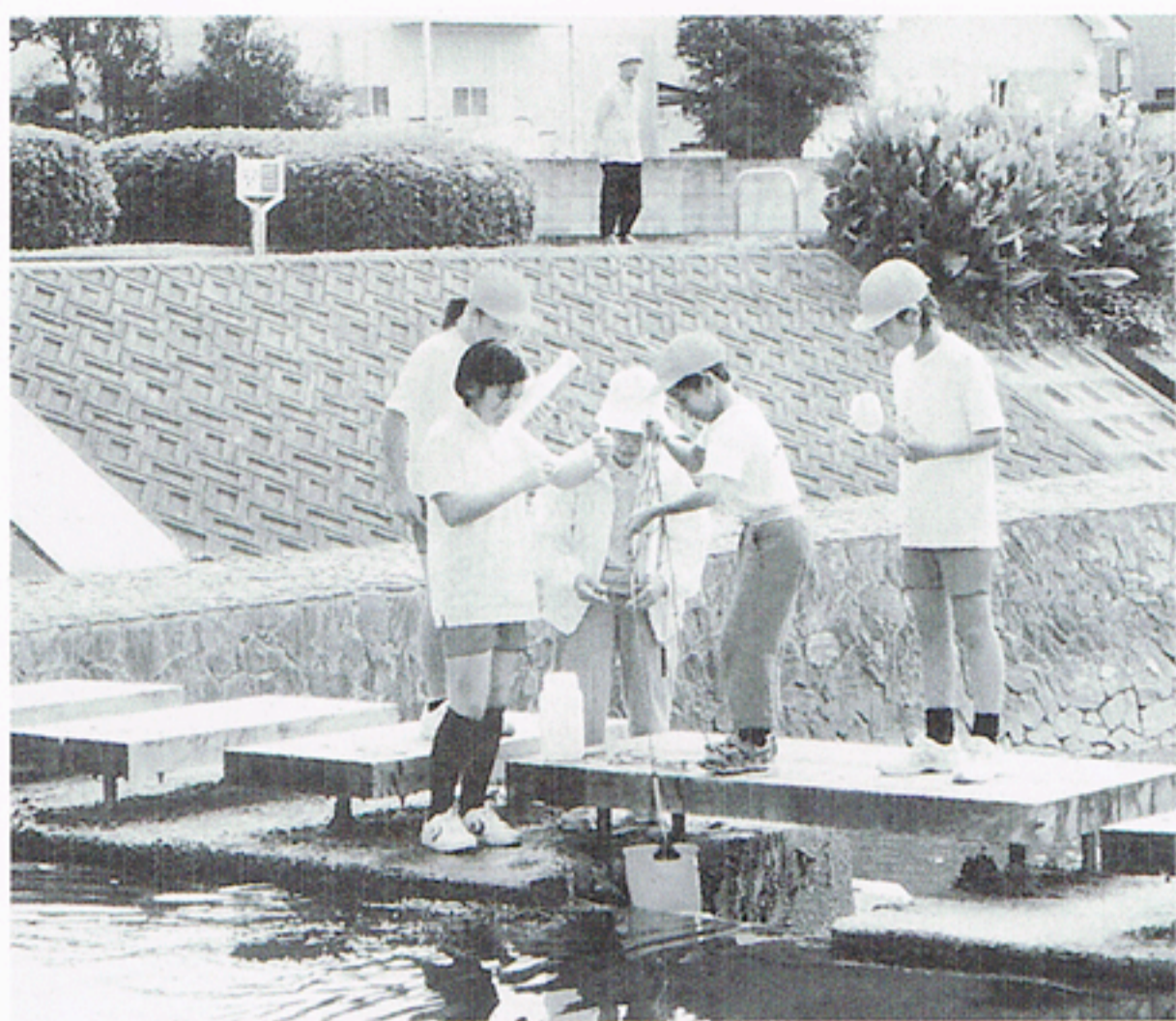


環境学習～各学校の取り組みについて～

北小4年生は正法寺川の環境学習に取り組み、環境問題への関心が高まるなど数々の成果が得られたと報告を受けている



正法寺川の環境学習（北小学校）

問 環境学習は、地球規模での環境悪化が叫ばれている現在、地球環境保全や公害防止、自然環境の保護整備について等、理解を深めることが大変重要であり、特に子供の頃から地域に根ざした日々の暮らしから始めることは必要と言われています。各学校での取り組みとその成果について尋ねます。

答 小学校では、西クリーセンターや浄水場の視察、県下水道課等の出前講座の開催、ごみの分別学習、家庭への古紙回収の呼びかけなどに取り組んでいる。

中学校では、正法寺川の清掃や水質検査等を行い、生徒自らが情報収集し意見交換をするなど、課題が追

求できたと報告も受けた。今後も更に各学校で充実した取り組みが必要と考えている。



西岡 恵子 議員

薬物乱用防止

～啓蒙・啓発と青少年への取り組みについて～
 充実した取り組みができるよう進めたい

問 薬物乱用が大学生や高校生に浸透、その低年齢化が進んでいると言われていきます。徳島県においても大麻の所持や栽培、中学校の先生や北島町の二十歳代男性の報道がありました。本町の青少年のすぐ隣まで来ているとの実感です。早急な対応が必要と考えますが、薬物乱用に対する認識と今後の取り組みについて尋ねます。

答 薬物乱用の及ぼす影響は個人にとどまらず、社会全体に害をもたらす。小・中学校では薬物乱用防止教室を開く等しているが、保護者・児童生徒向けの啓発読本の更なる活用など、日頃の取り組みが重要と考えている。

その他の質問

ごみ問題～各資源ごみ再生状況について～

廃プラスチック類は固形燃料として再生されている

○男女共同参画社会の実現（基本計画策定）について

問 自治体に循環型社会構築に向けた制度体系が求められ、再生資源の最終的な処理責任が問われます。自分が出した資源ごみがどのように利・活用されているか、どのように商品化されているか具体的に認識することが更なる再資源化増になると考えます。資源ごみのチェック体制と町民への再生状況の情報提供について尋ねます。

答 ペットボトル等は中間処理後、指定法人に引き渡されリサイクル。古紙類は再商品化に向け、有償で引き渡している。一年に一回現地で適正に処理されているか確認している。資源ごみの行方について広報等に掲載して啓発するとともに、西クリンステーションの見学に来る子供達にパンフレット等も作成して渡せるよう考えたい。